

あがの 市議会だより

第55号

令和5年

3月 定例会号

令和5年3月31日 発行

主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P1-2
常任委員会の活動報告	P3-4
市政を問う一般質問(10人)	P5-7
次回定例会の予定ほか	P8



「動いて・学んで・みんなでご飯」 アップルスポーツカレッジと 子ども食堂のコラボ

2月11日、安田交流センター風とびあにおいて、親子で参加するイベントが行われました。資格を持つ専門学校生の指導の下、子どもたちは体を動かし、保護者は栄養講座を受講。ランチタイムには、地元で子ども食堂を運営する方々が調理した地域の食材を生かしたメニューが提供され、親子で充実した時間を過ごしました。



1月16日に臨時会が開かれました

3月定例会が3月2日～17日の
会期で開かれました

3月2日 本会議

- 施政方針・一般行政報告
- 議案の提案説明
- 一般質問1日目(3人が質問)

3月6日 本会議

- 一般質問2日目(5人が質問)

3月7日 本会議

- 一般質問3日目(2人が質問)

3月8～10日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案を審査

3月13～15日
予算審査特別委員会

- 令和5年度各会計予算を審査

3月17日 本会議

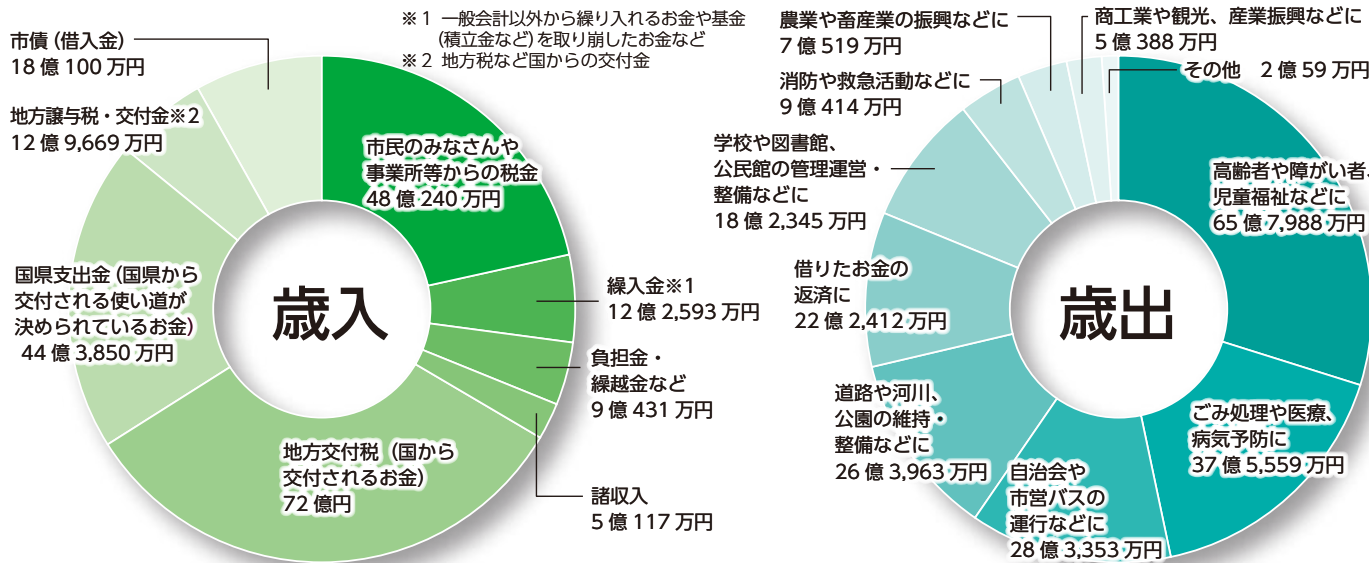
- 各常任委員会の審査報告のあと討論を経て採決
※ 議決結果は2ページ

議案ピックアップ

議案を議決するまでさまざまな視点から審議を重ねています。
審議した中から令和5年度当初予算の内容をお知らせします。

令和5年度当初予算

一般会計予算は **221 億 7 千万円** 将来にわたる持続的な財政運営を推進するために
— コロナ禍からの経済回復・活性化へ — ポストコロナ社会における地域経済の回復と活性化を加速させます。



【令和5年度各会計の予算状況】

会計名	歳入歳出予算総額	前年度対比(伸率%)
一般会計	221 億 7,000 万円	8.4
国民健康保険特別会計	41 億 9,620 万 7 千円	△ 7
後期高齢者医療特別会計	9 億 1,719 万 8 千円	6.4
介護保険特別会計	53 億 1,189 万 9 千円	1.4
押切外四ヶ大字財産区特別会計	500 万 8 千円	△ 1.2

水道事業会計			
収益的収入	13 億 1,254 万 5 千円	収益的支出	12 億 1,072 万 5 千円
資本的収入	4 億 7,025 万円	資本的支出	11 億 3,474 万 1 千円
下水道事業会計			
収益的収入	18 億 3,858 万 1 千円	収益的支出	18 億 297 万 7 千円
資本的収入	12 億 6,410 万 3 千円	資本的支出	17 億 274 万 2 千円
病院事業会計			
収益的収入	3 億 4,554 万 9 千円	収益的支出	6 億 7,939 万 2 千円
資本的収入	7 億 3,888 万 5 千円	資本的支出	7 億 8,564 万 7 千円

令和5年度当初予算編成における4つの重点施策の主な取組内容

1 地域経済の回復と活性化

- 商品券1万円分をプレゼントします
全市民を対象に市内で利用できる商品券1万円分をプレゼントします。
- 給食材料費の高騰分を支援します
認定こども園、保育園と小中学校の給食材料費高騰分を支援し、栄養バランスのとれた給食を提供します。
- 事業所による人材育成を支援します
市内事業所における人材育成を支援するため、就労者に一定の研修を受講させる事業所に対し、研修費用を助成します。
- 新規就農を目指す人を支援します
就農に至るまでの1年間の費用助成と手厚い相談体制により、新規就農を目指す人の育成と確保を図ります。

2 人口減少対策

- 2歳までの第2子保育料を無償化します
認定こども園や保育園に通う年収500万円以下の世帯の2歳までの第2子の保育料を無償化します。
- 移住・定住を検討する人を段階に応じて手厚くサポートします
意向に合わせた1泊2日程度の移住体験プランを作成し、交通費を支援します。
空き家を利用し、1か月程度の移住体験を提供します。市内の住宅取得費用や、空き家の改修費用を支援します。

3 デジタル化の推進

- 公共施設の利用についてスマートフォンなどからの予約を可能にします
体育館や公民館等の利用について、オンラインでの予約や料金支払いを可能にします。
- AIによるデマンド交通バスを試験運行します
予約状況に応じてAIによる最適な路線を運行できるデマンドバスを試験的に運行します。
- 校務支援システムを導入します
小中学校11校に校務支援システムを導入し、教職員の事務効率化を図り、教師が子どもと向き合う時間を増やします。
- メタバース空間での学習塾について実証実験します
メタバース空間での学習塾を試験的に構築し、活用について実証します。

4 防災・減災対策

- 最新の高規格救急車を導入します
かがやき分署に配備する救急車を最新車両に更新し、救急体制の強化につなげます。
- スマートフォンの活用による緊急時情報伝達を加速させます
高齢者のスマートフォンの購入費用への助成に合わせて、市の公式LINEや安全安心メールを登録してもらうことで、緊急時の速やかな情報伝達体制を強化します。

議案を議決するまで、さまざまな視点から審議を重ねています。

1月16日の臨時会と3月定例会で審議した議案の中から一部内容をお知らせします。

1月16日臨時会

一般会計補正予算(第9号)

主な内容

○妊娠・出産包括支援事業費 3,349万9千円

妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに、出産・子育てに係る費用支援を行います。

○肥料高騰対策堆肥活用耕畜支援事業費 1,800万円

不安定な世界情勢による肥料価格の高騰を踏まえ、市内産の堆肥を無償で提供することで、耕種及び畜産農家への経営支援を図ります。

3月定例会

阿賀野市国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給額を40万8千円から48万8千円に引き上げます。

阿賀野市体育施設条例、阿賀野市立学校施設使用条例の一部改正

分田小学校の閉校により、体育館・グラウンドを体育施設として市民に開放します。

議案ピックアップ

阿賀野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の加入促進、退団者の抑制など、消防団員の処遇改善に向け年額報酬を引き上げます。

阿賀野市職員等の給与の特例に関する条例の一部改正

し尿収集運搬業務及び複合ごみ資源化処理業務委託に係る一連の不適正事務処理の管理者責任により、令和5年4月1日から4月30日の間、市長の給料月額100分の20の減額を行います。

一般会計補正予算(第11号)

主な内容

○送迎バスの安全装置整備費 315万1千円

認定こども園、保育園、幼稚園、放課後児童クラブにおける送迎バスへの児童置き去りを防止するため、国の指針に基づき安全装置を整備します。

○安野川地区湛水防除事業負担金、県営かんがい排水事業負担金、ほ場整備事業負担金 2億2,305万3千円

国の補正予算に基づく前倒し事業として。

○道路消雪施設修繕事業費 2億1,491万円

国の補正予算に基づく前倒し事業及び消雪井戸の更新工事費として。

1月臨時会・3月定例会の議決結果をお知らせします

※省略：本会議で即決したもの 総文：総務文教常任委員会 社厚：社会厚生常任委員会 産建：産業建設常任委員会 予算：予算審査特別委員会 各委員会での審査結果は市ホームページでご覧になれます。

1月16日臨時会

全会一致で議決した議案等

議案名		審査した委員会※	議決結果
補正予算 令和4年度	一般会計補正予算(第9号)	省略	可決

3月定例会

全会一致で議決した議案等

議案名				審査した委員会※	議決結果	議案名				審査した委員会※	議決結果
人事 専決	阿賀野市教育委員会委員の任命について(小川寛子氏)			省略	同意	条例	阿賀野市特別会計条例の一部改正について			総文	可決
	令和4年度一般会計補正予算(第10号) 令和5年2月9日専決			省略	承認		阿賀野市国民健康保険条例の一部改正について			社厚	可決
補正予算 令和4年度	一般会計補正予算(第11号)、国民健康保険特別会計補正予算(第3号)、後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)、介護保険特別会計補正予算(第3号)、少年自然の家特別会計補正予算(第2号)、下水道事業会計補正予算(第2号)、病院事業会計補正予算(第3号)、病院事業会計補正予算(第4号)			省略	可決		阿賀野市体育施設条例の一部改正について			社厚	可決
	国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、押切外四ヶ大字財産区特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算、病院事業会計予算			予算	可決		阿賀野市立学校施設使用条例の一部改正について			社厚	可決
当初予算 令和5年度	国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算、押切外四ヶ大字財産区特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算、病院事業会計予算			予算	可決		阿賀野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について			社厚	可決
補正予算 令和5年度	一般会計補正予算(第1号)			省略	可決		阿賀野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について			社厚	可決
条例	阿賀野市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の一部改正について			総文	可決		阿賀野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について			社厚	可決
	阿賀野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について			総文	可決		阿賀野市病院事業経営改革審議会条例の一部改正について			社厚	可決
	阿賀野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について			総文	可決		阿賀野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について			総文	可決
	阿賀野市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について			総文	可決		阿賀野市職員等の給与の特例に関する条例の一部改正について			省略	可決
その他 発議							阿賀野市過疎地域持続的発展計画の改訂について			総文	可決
							市道路線の認定について			産建	可決
							阿賀野市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について			省略	可決

意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長(市川英敏)は採決には加わりません。

議案名				審査した委員会※	議決結果	公明党	日本共産党				新風あがの						会派の所属なし			
						村上清彦	宮脇雅夫	岡部直史	松崎良繼	山口功位	風間輝榮	大滝勝	百都順也	加藤博幸	遠藤孝	荒澤浩和	遠藤智子	近山修	清野栄一	天野市榮
補正予算 令和4年度	一般会計補正予算(第12号)			省略	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	○
当初予算 令和5年度	一般会計予算			予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	討 論 (要旨)	反対意見	本市は特に出生数が激減している。今年の小学校新入生は300人程度、6年後は190人前後で大きく減少する。出生、子育て支援策をもっと充実する必要がある。																	
請 願	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願			社厚	不採択	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
	治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める意見書の提出を求める請願			社厚	不採択	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
	討 論 (要旨)	賛成意見	戦争反対を弾圧する治安維持法で、作家の小林多喜二も逮捕され拷問で死亡した。最後には創価学会会長も逮捕される事態になった。日本は侵略戦争を反省するなら、犠牲者に謝罪し、国家賠償を行うのは当然だ。																	

あがの市議会だより 第55号

2

常任委員会の活動

市の仕事を3つに分け、関係する議案等の審査や調査を行います。阿賀野市では議員1人が2つの委員会に属しています。(ただし議長は常任委員になりません。)

総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和5年1月30日に所管事務調査を行いました

地域おこし協力隊の現状と今後の取り組みについて

活動内容

現在採用している協力隊には、道の駅での移住相談、観光案内、施設案内業務(コンシェルジュ業務)と、SNSの発信、HPでの記事公開、移住関係イベントへの参加による移住検討者向け情報発信をお願いしています。

活動目標

阿賀野市の暮らしや子育て支援、移住支援情報などを市外に住む人に発信することで、阿賀野市への移住に興味がある人を増やします。また、移住希望者に対する相談対応を行い、必要な情報の提示を行い、移住の促進を図るものです。活動目標は総じて移住者の増加としています。

募集状況

地域おこし協力隊とは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発、販売、PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。阿賀野市では平成27年に初めての採用をしてから現在まで11人を採用し、農業、観光振興、移住支援に関する活動を行いました。こ

れまでの活動期間は平均で1年8か月、卒業した隊員のうち1人が市内に定住しています。

情報発信業務について

阿賀野市に関する調査として、阿賀野市役所内各課や観光協会、各企業や施設、移住者等に話を聞きに行き、阿賀野市の調査を行うものとしています。調査した内容については、ツイッター、インスタグラム、ノートの3つの媒体を活用して写真やブログで情報発信を行っています。これまでにインスタグラムでは100件の投稿、ブログでは14本の記事を掲載しています。

コンシェルジュ業務について

道の駅のコンシェルジュスペースで、観光案内業務、道の駅の施設案内、移住相談への対応の3点の業務を行っています。

その他の活動について

FM新津への出演、道の駅オープンに伴う「新潟日報assh」への取材協力、産業フェア実施に伴う「月間にいがた」への取材協力、笹神中学校50周年イベントへの協力をしました。

今後の取り組みについて

1人の隊員の卒業に伴い、引き続き2人体制で情報発信とコ



電子黒板、タブレットを使用し説明を受ける委員

ンシェルジュ業務を行うっていくため、隊員1人を追加募集する予定です。

質疑・委員会意見

説明を受けた後、委員からは「隊員の冬場の活動内容について」「PRやプロモーションに関する情報発信の計画について」「今後の募集人数について」等の質疑がありました。

これらを踏まえ、協力隊の活動については、「コミュニケーション」とり、ビジョンを共有して、やりがいを持つて活動できるような配慮をすることで、そこに魅力を感じる人材も来るかもしれない。阿賀野市が「してもらいたいこと」や「阿賀野市をどうしていきたいか」をしっかりと示すことがいい隊員を生み出すことにつながると思う。卒業後に定住してもらうための市のフォローやバックアップ体制が大切だと意見集約されました。

社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和5年1月24日に所管事務調査を行いました

市所管体育施設の現状と課題について

生涯学習課が所管するスポーツ・レクリエーション系の施設

は市内に16施設あり、4地区とも屋内体育館、屋内運動場があります。また、水原地区と安田地区には野球場、さらに安田地区にはB&G海洋センター、水原地区にはテニスコートがあります。16施設中3施設が旧耐震基準で、そのうちの2施設は老朽化が進んでおり、市の公共施設等総合管理計画の中で廃止の検討をするという方針が出ています。

今回、廃止検討となっている施設の一つである京ヶ瀬体育館、また、平成27年度に改修工事を行った水原総合体育館の2施設の現地調査を行いました。



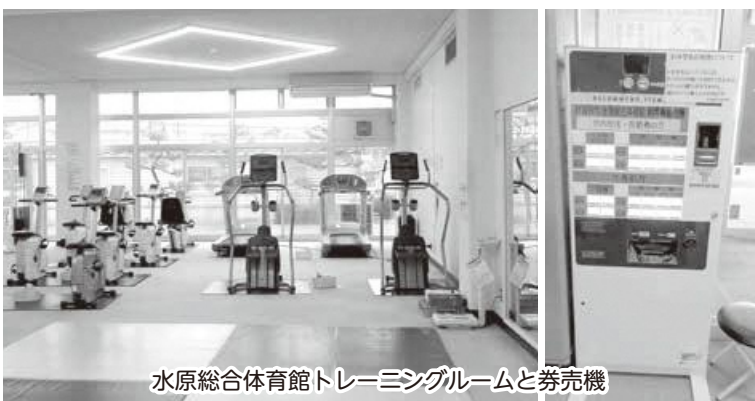
京ヶ瀬体育館内を調査する委員

するのであれば、予算的に外装までは難しいとしても、内部の最低限の修繕工事は必要です。

水原総合体育館

昭和56年度に建築し、平成27年度に大規模改修を行った施設です。主体構造は鉄骨鉄筋コンクリート造で、耐震基準は新基準の建物です。笹神体育館とともにランニングコースやトレーニングルームを備えており、シニアスポーツを利用できる施設となっています。また、この2施設については、先日券売機が導入されたばかりです。多種多様に利用されており、総合体育館としての機能を十分に果たしている施設です。

ただし、バスケットゴールの稼働不良やアリーナ出入口の扉



水原総合体育館トレーニングルームと券売機

の開閉不良など、大規模改修時には対応不要だった箇所の不具合が少しずつ発生してきており、現在、その時々に対応している状況です。

委員会意見

委員からは、柔剣道場について、コロナ禍のマスク着用での部活動で熱中症のリスクがあることや、非常時の避難所としての利用も考えられることからエアコンの設置を検討してほしい、また、廃止検討されている施設については、現状と課題を市でよく検討した上で、市民の理解を得られるよう十分周知して今後に備えていただきたい、廃止後の利用や解体後の土地利用等に関しても市民に示してほしい等の意見が出されました。今後は、市施設の保守点検をこまめに行い、施設の長寿命化を図っていただきたいと意見集約されました。

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)

学校給食のセンター化について

閉会中の継続調査事項(6月定例会まで)

ごみ処理の現状と課題について

産業建設 常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

令和5年1月20日に所管事務調査を行いました

五頭山麓うららの森情報発信館の現状と今後の見通しについて

うららの森情報発信館は、平成15年3月に「食と緑の交流拠点施設」として、体験学習館、ゆうきふれあい即売所とあわせ一体的に整備されました。観光案内・温泉旅館宿泊情報の発信、阿賀野市の特産品等の販売や食事処「結核」での食事の提供など、阿賀野市の魅力を伝える施設となっています。情報発信業務は五頭温泉郷旅館組合に委託し、市と連携して取り組んでいます。来館者数は、長引くコロナ禍の中でも年間6万人前後で推移しています。

今後は、引き続き、市と旅館組合が連携して観光情報や市の魅力を発信するとともに、うららの森全体を活用したイベント等の実施を通じ、観光客等の誘致を図っていくとのことです。

委員会では、「道の駅あがの」と連携した地域の魅力発信と来訪者の増加につながる事業展開、未整備の広場とブルーベリー園の早急な改善、来館者ニーズに基づいた施設整備、体験学習館・ゆうきふれあい即売

所と農園ハウスを含めたエリアの事業展開プランの検討等、将来に向けて整備に取り組みまれたと意見集約されました。



市の特産品が並ぶ情報発信館

うららの森農園の現状と今後の見通しについて

うららの森農園のハウスでは、土を使わない循環養液栽培で1年を通じ、中玉トマト「フルティカ」を栽培しています。販売先は市場出荷が65%、ゆうきふれあい即売所や旅館等の市内向けが35%となっています。また、今年度は規格外品を加工用として「道の駅あがの」へ納入を開始しました。令和4年度の販売量は、12月末時点で6・8トン、前年同期と比べ約1トン増加しました。

当ハウスでは、収量の増加と品質向上を図るため、一部区画を利用して栽培方法の試験・検討を実施しています。令和3年度は収穫量の増加を目指して苗

の本数増加試験、今年度は苗の本数を減らして昨年との比較栽培を行っています。

今後は、過疎対策に関する事業などとの連携を図りながら、新規就農や園芸導入希望者の会計年度任用職員としての雇用、規格外品の加工用販売を含め農家に向けて売れるトマトの情報発信等を行いたいとのことです。

また、新規就農や園芸導入希望者がいない場合は、農業法人や園芸拡大希望者などへの貸しハウスの検討なども必要と考えているとのことです。

委員会では、厳しい収支状況にある事業の見直し（教育実習・研究施設、ハウスの貸出し



ハウス内の加温機（筒状のビニール）
冬でも12℃以上が保たれている

等収益確保策）、地域の人口の確保や生産基盤の強化、後継者確保の観点での当ハウス活用、就農スタート時の収入確保を支援する会計年度任用職員採用、JA等と連携した臨時職員採用などを検討されたいと意見集約されました。

社会厚生常任委員会 視察研修

2月6日～7日に先進地視察研修を行いました
SDGs推進の取組について（埼玉県入間市）

入間市は、内閣府による2022年度「SDGs未来都市」に選定され、SDGs未来都市計画を策定し、2030年のSDGs達成に向けて、市民や民間企業との共創による未来のまちづくりを目指しています。

取組の一つとして、高齢者の外出モチベーション向上のためのデマンド交通とアプリの開発・実用化があります。高齢者の外出機会や手段を確保し、買い物等、普段の生活の中でリハビリを楽しく行うことで、健康寿命の延伸を目指すことを目的としています。

そのほかにも高齢者支援の取組として、2016年に二次元コードが書かれたシールを爪に貼る徘徊身元確認支援サービス「爪Qシール」を全国で初めて導入、身元不明者の早期解決にもつながったという事例もあるとのことです。

ごみ減量化の取組について、「八王子てくてくポイント」について（東京都八王子市）

八王子市では、平成16年からごみの有料化と戸別収集を進めたことで、市民の分別意識の向上が図られ、ごみ収集量の減少、資源物収集量の増加につながりました。平成22年にはプラスチック資源化拡大と資源物の戸別収集が行われ、資源物収集量がさらに増加しました。取組直後の環境省発表の全国ランキングで、人口50万人以上の都市で、1人1日あたりのごみの総排出量の少なさ、リサイクル率ともに全国1位となり、その後も高い水準を維持しています。

また、平成18年に広域最終処分場でエコセメント化施設を本格稼働し、焼却灰をエコセメントとして資源化することで、最終処分場の延命化にもつながりました。また、不燃物処理センターで手選別を導入したことにより、不燃残渣が資源化され、平成30年度には埋立処分量がゼロとなりました。

そのほか、スマートフォンアプリを利用して、高齢者の介護予防を応援するポイント制度「八王子てくてくポイント」について、実際のアプリ画面を見ながら説明を受けました。運動、食事、脳トレなどでポイントを貯めて、貯めたポイントは市内の協力店で使用できるだけでなく、キャッシュレス決済サービスのポイントにも換算できるというものです。

これら先進地の取組は、当市にとってはまだまだハードルが高いと感じられるものもありますが、今後の阿賀野市のまちづくりの参考にしていきたいと思っています。



産業建設常任委員会 視察研修

2月9日～10日に視察研修を行いました
全国農業協同組合連合会

●飼料原料情勢と国内対策

日本は、配合飼料の主原料である大豆等を輸入に頼っています。現在はロシアのウクライナ侵攻の影響と円安を背景に価格が高止まりとなっており、未利用資源の活用を含め、飼料の自給率向上が今まで以上に喫緊の課題となっています。飼料用米は、耕種農家と畜産農家との直接やりとりが多い中、利用率向上には、集荷や品質確認等の供給側の体制整備、コスト削減が必要とのことです。

●肥料原料情勢と国内対策

化学肥料の主な原料は尿素など、多くは輸入されており、国際価格は、飼料原料と同様の影響に加え、アンモニア価格の高騰や肥料需要が旺盛なこと等により高値の状況が続いています。全農では安定調達に向けて、資源調査と輸送の安定化に取り組んでいるとのことです。一方、国内の土壌の地力低下や、みどりの食料システム戦略への対応のため、畜産由来たい肥等、国内資源の利用が求められており、全農では、これらの開発、製造、普及等に参画しています。

●米を取巻く情勢と今後の国内生産構造の方向

全国の4年産主食用米の作付面積は125.1万ha（前年比－5.2万ha）、10a当たり収量は538kgとなりました（農林水産省）。全農では、2・3年産米の計画的販売、4年産米の消費促進活動を展開するとのことです。

稲作主体の経営体が多い当地域の条件を考慮した非主食用米の生産や、新たな園芸作物・飼料用作物の生産、耕種農家と畜産農家の連携強化、有機農業の推進などについて、必要な措置と支援を検討、展開していくことが必要と思われました。

埼玉県児玉郡美里町

●営農型太陽光発電について

美里町は、面積33.41km²のうち田畑は約4割、温暖な気候で多様な農作物の栽培が可能ですが、少子高齢化に伴って遊休農地が増加しており、平成26年頃から農地への太陽光発電のパネルの設置が見られるようになりました。

太陽光パネルは、立って楽に作業できる高さに設置され、その下にシキミなどが栽培されています。営農型太陽光発電は、農地が適切に管理され、賃借料など地権者、耕作者の収入となりますが、設置後20年間経過し、所有者に返還された後の対応が課題とのことです。

当市の自然条件では同様にはいかないと思われませんが、今後の遊休農地対策を考えていく上で有意義な研修となりました。





新風あがの
加藤 博幸



経済情勢等に対する認識について

質問 円滑な施策遂行のための情勢分析を伺う。

答弁 ウクライナ侵攻、物価高などの影響により経済回復に時間を要すると認識。

質問 市の財政状況を伺う。

答弁 一般財源の倍近い500億円の借金があるが、優良起債等に対応。比較的安定している。今後も国補助金の確保にも努めていく。

質問 長期金利上昇の影響を伺う。
答弁 +0.1%の上昇で令和4年度市債11億円の場合、10年で720万円の負担増加となる。



無会派
近山 修



市内小中学校の統合について

質問 分田小学校が4月より堀越小学校と統合となる。今後も少子化が進み、小学校の統合が考えられる。統合に向けての市の考え方を伺う。

答弁 市の学校統合計画を定める小学校整備計画は、現在策定していない。統合に当たっては、保護者や地域の意向を確認した上で進めていくべきものと考えている。現在、1学年1クラスの小学校も出てきており、将来を見据え、地域の意向、児童数の減少見込みを考慮して、教育環境の適正化などを総合的に検討した上で判断していく。

市の組織力強化について

質問 市民の負託に応える基本「組織力強化」の取り組みを伺う。

答弁 外部研修を職位職階で体系化、組織内OJTの強化、職員同士の信頼関係構築を図りワンチームの組織づくりを目指す。

少子化対策について

質問 具体的な指示内容を伺う。

答弁 安心して産み、育てられる環境の提供、ライフステージを通じての切れ目ない支援のため、支援策の整理と不足している部分の検討等を指示。

質問 これから提示される国・県からの支援策に人員、体制ともに大丈夫か伺う。

答弁 現在、難しいと思うところがある。



デジタル化の対応について

質問 具体的な取り組み状況を伺う。

答弁 国の仕組みを活用、一部行政手続きについてオンライン申請が可能な環境を整備している。

質問 求められてきた手続きのワンストップ化を伺う。

答弁 行政標準システムの見直しが行われるため、これにまず対処したい。

質問 デジタル人材の確保を伺う。

答弁 新規採用に至っていない。

街の活性化について

質問 PPP／PFI活用による事業展開を伺う。

答弁 有効な手段と認識も活用に至っていない。「賢く使う」を基本に施設整備を進める。



無会派
清野 栄一



「子育て環境日本一」について

質問 本市は平成27年度より「子育て環境日本一」を目指し、安心して出産・子育て等ができるよう各種サービス、サポートを行っているが、成果と課題及び今後の施策展開について伺う。

答弁 成果は子育て世帯の満足度が高い、課題は出生率が低迷、今年度は第2子の保育料の無償化を行う。

意見 施策のメニューは多いが出生率が12年も県平均を下回っている。給食の無償化や出産祝い金創設に取り組むべき。



新風あがの
遠藤 孝



阿賀野市における過疎化の今後の課題と対策について

質問 全国的に少子化問題、人口減少対策、当市においても市外転出者、空き家問題と過疎化の課題対策としてある中、当市総合計画、未来構想としての政策、施策、事業展開を伺う。

答弁 安心して子どもを産み育てられる環境の充実、安定した雇用の確保、健康寿命の延伸に向けた取り組みや地域で支えあう仕組みの構築などの取り組みが必要。本市の子育てしやすい環境を知ってもらう取り組みを継続し、「若者に選ばれるまち」を目指したいと考えている。

水原駅のみどりの窓口廃止について

質問 水原駅のみどりの窓口が2月28日で業務を終了。切符は自販機による近距離切符だけで東京などへの切符や定期券等の販売は行わない。公共交通は、公益的的使命があり、採算性による合理化のみを推し進めるべきではない。市長は打開策を講ずるべきと思うが、見解を伺う。

答弁 当面無人化の予定は無い。路線の維持・拡充は要望していく。

意見 他の駅の事例を見ると窓口業務終了1年前後で無人化されている。12月議会でも言ったが、市で切符販売の受託や駅の地域活性化の拠点としての活用を考え準備してほしい。



有機農業の推進と学校給食への食材利用について

質問 国は令和3年「みどりの食料システム戦略」を策定、有機農業の推進を掲げている。笹神地域では有機米の生産に取り組みしており農業所得の向上策としても有機農業を推進すべきと思うし、安心安全な食材として学校給食への利用が適切と思うが如何か。

答弁 今年2月に策定された県の基本計画に基づき普及・啓発に努める。給食への利用は価格面から課題がある。

要望 佐渡市では地産で給食用の食材・調味料全ての有機化を目指し取り組んでいる。本市も安心安全な地元有機食材を使っていきたい。

1年間の生活支援をする「過疎地域新規就業支援事業」を実施予定。この事業の活用により、新規就業者が地域に生まれることを期待している。

市管理施設の保護、管理について

質問 市管理の各施設の内部の破損部等は確認修繕されてきたと思うが、外観面では補修工事の必要施設が、なかなか保護、補修されていない。今後の市としての対応策を伺う。

答弁 公共施設等総合管理計画では、予防保全による長寿命化を基本方針の一つとして、年に一度、所管課職員の目視による施設点検を実施している。建物の躯体や外壁などの外観は機能面での劣化状況により補修等の必要性を判断している。





共産党
宮脇 雅夫

CO₂削減の推進計画と ごみ分別収集の統一を

質問 環境省によると、当市のエネルギー消費量(電気と)、再生可能エネルギー導入潜在量はほぼ同じで、消費量は、市内での再生可能エネルギーの太陽光、風力、中小水力、地熱の発電で賄えるとしている。市環境基本計画・地球温暖化対策実行計画作成の進捗状況を伺う。

答弁 今年6月策定予定。省エネ、創エネの推進で目標達成に向けた計画にしたい。市民・事業者・市の協力で循環型社会の構築を基本にする。

質問 五泉地域衛生施設組合の



新風あがの
百都 順也

あかまつ荘の今後の 運営について

質問 今後の在り方についての検討会から、①廃止する、②地域住民が主体となり運営する、という2つの提言があり、まずは運営団体を公募することが決まっている。これを踏まえ、あかまつ荘の今後について伺う。

答弁 検討会および提言書について市長の所感。また、2つの提言のいずれかで決着する際、市長の最終的な判断の基準と時期についての考えは。

答弁 提言内容を尊重し取り組んでいく。最終的な決断について期限を設定していないが、運

中間処理施設は、令和7年に運用開始予定だが、安田地区、阿賀野市3地区、五泉市、阿賀町の3地区の分別が統一されていない。容器プラスチック分別も含め統一することが必要でないか。

答弁 新施設の稼働時には、安田地区も含め統一する方針。

ドアドアの「デマンド タクシー」の運行を

質問 高齢化が進行し、従来の市営バスの運行を見直す時期だ。

胎内市のデマンドタクシーは、『複数の人が乗り降りしながら走る「乗り合いタクシー」で、通常はジャンボタクシーで運行。利用する1週間前から1時間前までに電話で予約。市内のどこからでも乗り降り可能で、決まったルートや停留所は

なく、一緒に乗り合う客の行き先でルートが決まる。土・日曜、祝日も運行。利用料金はおとな(高校生以上)300円、こども(小中学生)150円、未就学児無料』で好評である。五泉市でも運行している。当市も検討すべきだ。

答弁 他自治体の事例を参考に、住民のニーズ把握や交通事業者と協議し、様々な手段を検証・実証し、地域公共交通を構築したい。



運営の必要性についての十分な周知・説明が必要となるが、公募の進め方について考えは。

答弁 3月中旬に募集を開始し、2カ月間の期間を設ける予定である。この度公募する運営団体の組織づくりは市民協働の実現に向けて大きな意味を持つため、当市におけるモデルケースとなるよう様々な側面からサポートしていきたい。



無会派
天野 市榮

五泉施設組合が整備する最終処分 場及びごみの分別収集について

質問 大田地区での最終処分場建設を断念して丸2年が経過した。次の候補地について、市長は「地盤の強固な適地を再度探したい」と地元紙に述べている。

①組合の令和5年度当初予算に最終処分場の「最終候補地地質調査業務委託」が計上されている。候補地は何か所か。地質調査を行う候補地はどこか。

②新たな候補地に建設する最終処分場は大田地区と同じ仕様(面積、計画埋立面積、計画埋立容量など)か。

③東京都八王子市では焼却灰をエコセメントとして全量資源化したことで、埋立処分量ゼロを継続している。参考になる先進事例と考えるがどうか。

④令和7年度の中間処理施設の稼働に合わせて、可燃ごみとして収集している安田地区のプラスチック容器包装類なども資源ごみとして分別収集することになっているがスケジュールは。

答弁 ①当市から候補地1か所を選定し組合に通知。(場所についての答弁なし。)

②被覆型処分場とすること以外は未定。

③情報を収集し検討。

④施設稼働時に混乱なく分別収集に移行。



地域ポイントカード(APOカード) 事業の現状と課題について

質問 ①加盟店舗(27店舗)が増えない理由は。

②東京都八王子市のように加盟店以外の店舗でも使える決済システムを導入してはどうか。

③マイナンバーカードが急速に普及している現状を踏まえ、官民によるポイントサービスの融合を目指す「自治体マイナポイント」についても検討してはどうか。

答弁 ①既にスタンプカードを使用、端末使用料の負担、手続きが面倒など。

②情報を収集し検討。

③国や他自治体の動向を注視しながら判断。

答弁 地域の方々、関係機関と協議し、地域計画を策定していきたい。

質問 大規模経営でも家族経営でも、価格保証、所得補償がなければ地域農業は衰退する。

答弁 国の責任で取り組むべきだ。

質問 国に求めることは当然だが、市としても直接支援に踏み出すべきだ。「ゆづきの里」ささかみ協創モデル創出事業のめざす方向を発展させ、有機米をメインにしたオーガニック給食を全市に広げる取組を。

答弁 実証事業であり、結果を踏まえて笹神だけでなく拡大につなげた



有機米生産へ堆肥散布



質問 子育て支援策として高校生までの均等割減免を行う自治体が全国で広がっている。阿賀野市でも実施を。

答弁 国保会計の中でやりくりすることになり、市独自の減免は困難だ。

質問 子供がいるという「特別な事情」で減免条例を適用し、一般会計から穴埋めする形は、国はペナルティの対象にならないとしている。

答弁 それぞれのところのやり方を調べて、適用できるか考えていきたい。

質問 人間ドック受診者負担は

質問 国保会計滞納者へのペナルティである資格証明書では、いったん全額を払わなければならぬ。国は生活困窮など特別な事情のないことを明確に把握した上で発行すべきとしており、県内8自治体では発行ゼロになっている。少なくとも短期保険証の発行を。

答弁 極力滞納者の状況確認に務める。

有機栽培へ支援拡充を

質問 家族農業も含めた多様な経営体で地域農業を構築していくべきだ。

一般質問

一般質問の詳細は会議録またはホームページでご覧いただけます。今回のものは6月上旬の予定です。
会議録は図書館、各支所、本所ロビーに用意してあります。



新風あがの
風間 輝榮



新型コロナウイルス について

質問 「2類」から「5類」への引き下げに伴い、具体的にどう変わるのか。

答弁 入院・外来医療費は全額公費負担から自己負担、入院措置や濃厚接触者の外出自粛がなくなる。季節性インフルエンザ同様に、幅広い医療機関での診療に移行。ワクチン接種については引き続き自己負担なく受けられる。マスク着用については3月13日から個人の判断に委ねる。学校では4月1日から適用。



共産党
岡部 直史



新型コロナ感染対策 5類引き下げ後の対応は

質問 政府は、新型コロナウイルスの感染法上の位置付けを、5月8日から季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げると表明した。感染者数が減少したからといって、安易にインフルエンザと同じ5類にすることは拙速だ。年度末から4月にかけての人の移動、5月の連休後の感染状況を見極めてから、科学的に判断すべきだ。

答弁 学校や高齢者施設での集団感染の心配はなくなったと考えてよい状況なのか。
位置付けが5類に移行す

マイナンバーカード について

質問 直近の申請率と未申請者の今後の取り組みはどう考えているのか。

答弁 2月12日現在、概数で71・4%。未申請者へのカードの普及、推進から平日日中以外に休日・夜間の申請窓口を開設。高齢者や障がい者の方は各施設ケアマネジャー等による代行手続きができないか検討中。

質問 医療機関での「マイナ保険証」の受け入れ体制は大丈夫なのか。

答弁 市内の医療機関、薬局における顔認証付きカードリーダーの申込率は1月末時点で98%、受け入れ準備は着実に進展している。健康保険証については、令和6年秋に廃止を目指す。マイナンバーカードのない方への対応は、従来の健康保険

学校のトイレの 洋式化の促進を

ることにより、市の対応は、原則、行動の自粛などを要請する対応から個人の選択を尊重する対応へと変わる。
学校や高齢者施設の感染状況は、感染者数が減少傾向にあるものの、依然として複数の感染者が発生している。引き続き感染対策を促していく。

質問 小中学校のトイレの洋式化について、国の臨時交付金を使って和式を洋式にする改修工事を行ってきたが、まだ改修が済んでいない学校の保護者より改修の要望を聞いている。洋式化の進捗の実態について伺う。

質問 保育施設、福祉・介護施設等への物価高騰、光熱費高騰に伴う市の援助について伺う。



洋式化を進めていきたい。

保育、介護施設等の物価、 燃料高騰に対する援助を

答弁 物価高騰により支出が増えていることは認識しており、施設運営状況を見ながら、国の支援方針と併せて支援の必要性を検討する。

証による受診が可能。最大1年間有効の経過措置を設ける。



「市島春城」に関する 整備計画について

質問 これまでの取り組みと今後の整備計画はどのように考えているのか。

答弁 平成16年に生家離れの跡地を史跡に指定。建物の老朽化により、平成18年に解体。敷地を整地し、芝を張るなど環境整備。昨年9月に東屋設置、有志の会により胸像設置。これによって一連の整備を終えたものと考えている。

◆その他の質問◆ 令和5年度当初予算(案)について

【お詫びと訂正】

前号(54号)6ページの荒澤浩和議員の一般質問中、「国道49号線水原バイパスについて」の質問に対する答弁の記載に誤りがありました。次のとおり、お詫びして訂正いたします。

国道49号線 水原バイパスについて

質問 バイパスを交差して通学する小中学生は何名いるか。

答弁 (誤) 4自治会で13名の児童が通学している。
(正) 4自治会で21名の児童が通学している。

議会のデジタル化について行政視察

議会デジタル化推進チームで、1月24日に議会におけるタブレット端末の導入について、先進地である新発田市議会へ視察に伺いました。平成28年10月から導入に向けた検討を開始し、令和2年9月定例会で試験運用を行い、令和3年2月定例会にてタブレット端末を用いたペーパーレス議会が完全実施されています。導入までの経緯や議会での運用、課題等について説明をいただきました。この度の内容を参考にさらなる検討を進めていきたいと思います。



議会の情報は 市ホームページをご覧ください

●検索サイトから

本会議議事録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。
ぜひご利用ください。

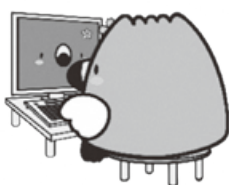
阿賀野市議会

検索

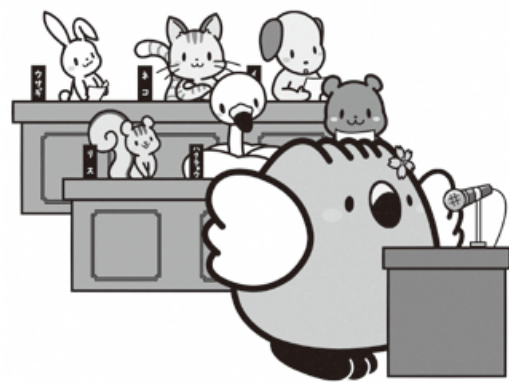


●中継はこちら

会議名、議員名、用語などから検索できます。
視聴したいものを選んでクリック！



阿賀野市
イメージ
キャラクター
「ぐずっちょ」



トルコ・シリア地震に対する 救援金を送りました

2月6日にトルコ・シリアで発生した大規模な地震による被災地を支援するため、阿賀野市議会では2月21日、議員互助会より救援金として5万円を市社会福祉課を通じて日本赤十字社に送りました。
被災地の一日も早い復興を心よりお祈りしております。

し尿収集運搬業務委託及び複合ごみ資源化処理業務に関する調査特別委員会による検査が終了しました

市議会では、し尿収集運搬業務委託及び複合ごみ資源化処理業務の不適切な事務処理が行われたことについて、事実を明らかにし、市民への説明責任を果たす必要があると判断し、令和4年9月22日第5回議会定例会において、地方自治法第98条第1項の権限を委任された「阿賀野市し尿収集運搬業務委託及び複合ごみ資源化処理業務に関する調査特別委員会」(以下「委員会」という。)を設置しました。

委員会では、事件の事実確認、要因、人事管理、内部統制の検査を行うこととし、市側や事業者から書類の提出を求め検査したほか、市職員や関係者からの聴き取りなどを行いました。

委員会は、延べ11回開催し検査検討を行った結果、このたびの事件は、一職員の職務・事務処理能力及び職務上、重要なコンプライアンス(規範・規律)等の認識不足から、また管理監督する立場にある職員においても、自身の職務に対する認識不足があり、加えて部課内の職員間のコミュニケーションづくりを含め、総括・統括すべき職務を果たすことができていなかったことにある。しかし、このことは、職員が現組織体制においても規律・規範に基づいた職務の遂行ができていないことであり、組織的にも内部統制が構築されていないことである。社会から求められるガバナンスコード(内部統治・管理)、コンプライアンス意識の醸成、そのための人材育成・教育研修などを、時代に即して実施していくことが肝要であるが、組織そのものが現状維持バイアス(現状維持思考)となり、漫然的に従来どおり、前年どおりの意識下で研修会に取り組んできたこと、指摘されかねない状況にあると確認したため、市に対し再発防止策として右記の6項目について「提言」し、二度とこのような事

態を起こすことがないように再発防止に取り組むことを3月2日の3月議会定例会初日において、委員長報告の中で市に求め、委員会の調査を終了しました。

提言

1. 組織ガバナンスコード(内部統治・管理)の再確認、再確立と合わせ職員への浸透定着を図ること。
2. 部門・業務ごとに職務・業務内容の点検と業務執行マネジメントを確立すること。合わせて、業務執行マネジメントに基づく職能・職制に応じた研修カリキュラムの再構築と研修の実施、ならびに職員が研修会に参加しやすい環境を担保すること。
3. 全組織的、階層別コンプライアンス研修を定期的の実施し、職員のコンプライアンス意識の向上を図ること。
4. 組織内の職場環境づくりは、市長を筆頭に職員同士のコミュニケーションが重要であり、そこから改善点を見出すことができる。コミュニケーション研修を研修カリキュラムに組み入れるとともに、ハード・ソフト両面から、いわゆる「仕事がしやすい」、「休憩しやすい」職場環境づくりに取り組むこと。
5. 組織体制の円滑な運営を図るためには、管理監督の立場にある者が中心になり、業務にあたる必要があることから、業務の進捗状況や課題等の把握、共有を進め、庁内、部課内の会議を定期的を開催すること。
6. 管理職とは、「組織の責任者」である。管理職においては、職階に応じた責任を負わなければならないことを十分に理解し、部課内のマネジメントを担い、リーダーシップを発揮して、職務を遂行すること。

阿賀野市PTA連絡協議会との情報交換会

1月19日に水原小学校において、阿賀野市PTA連絡協議会の皆さんと市議会議員との情報交換会を行いました。阿賀野市の児童生徒の課題や現状について情報交換するとともに、阿賀野市の未来を担う子どもたちのためにともに考えていくという内容でした。議員を含めた参加者を4グループに分け、「阿賀野市児童生徒の実情と教育環境の展望」をテーマにディスカッションを行い、最後に各グループで話し合った内容を発表しました。

「スマホ・ゲーム等との向き合い方」「地域のひととのふれあい」「親子間のコミュニケーション不足」「運動不足」「部活動のクラブ移行問題」「親と子どもの交流会」「不登校」「いじめ」「職員不足」「放課後の居場所づくり」「有機給食」などについてたくさんの意見があり、情報や課題の共有ができました。

子ども達・ご家族・地域の方々のためにも、いただいたご意見を参考に、今後の政策立案等に役立てていきます。これからも、多くの市民の皆さまからのご意見をいただきますようお願いいたします。



農業関係機関懇談会に出席しました

1月27日、ふれあい会館において阿賀野市農業関係機関懇談会が開催され、産業建設常任委員会から8名が出席しました。

懇談会では、JA新潟かがやきあがのアグリセンター、同ささかみアグリセンター、阿賀野川土地改良区、市農林課、農業委員会とともに、「これからの地域農業の在り方」をテーマに、阿賀野市の農業の現状、今後の取組や目指す姿などについて意見を交わし情報を共有しました。



次回6月定例会の予定

5月23日の議会運営委員会で正式に決定します。その後、市ホームページでお知らせします。

月 日	会 議 名
5月23日(火)	議会運営委員会(定例会の運営方針決定)
6月 2日(金)	本会議(議案上程、一般質問)
6月 5日(月)	本会議(一般質問)
6月 8日(木)	本会議(一般質問)
6月12日(月)	総務文教常任委員会
6月13日(火)	社会厚生常任委員会
6月16日(金)	産業建設常任委員会
6月20日(火)	本会議(委員長報告、採決)

ようこそ阿賀野市へ 行政視察受入れ

2月15日に富山県小矢部市議会議会運営委員会の皆さまが来庁され、議会の運営状況や議会だよりの編集等について研修を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、当市での行政視察受入れは約3年ぶりとなりました。



ありがとう 安田幼稚園

安田幼稚園が3月31日をもって惜しまれながら閉園、58年間の歴史に幕を下ろすこととなり、閉園式が3月5日に挙行されました。市議会からも議長、副議長、総務文教常任委員会委員長、地元議員2名が出席しました。

式では、全員で園歌を歌い、感動に包まれた式となりました。



発行：阿賀野市議会
編集：議会改革推進特別委員会
広報広聴部会
〒959-2092
阿賀野市岡山町10番15号
TEL：0250-61-2489
FAX：0250-61-2067
E-mail：gikai@city.agano.niigata.jp

お問い合わせは
こちらから



次号は令和5年7月14日発行の
予定です。

議会改革推進特別委員会広報広聴部会
部長 松崎良繼
副部長 岡部直史
近村 遠藤 清野 澤野 天野 清野 荒澤 浩和
村上 清野 山栄 近野 天野 清野 荒澤 浩和

広報広聴部会委員 近山 修

田畑ではトラクターが活動し、農作業が動き始め、5月から新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが「5類」に引き下げられ、マスク等の規制が緩和されます。
新年度予算も決まり、市・議会ともに地域経済の振興に向けて取り組んでまいります。



編集後記

